

萩ジオパーク 推進協議会だより vol.65

萩ジオパーク推進協議会

| 2020年7月31日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hagigeo/>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject/>



どこでもジオツアー第2弾！

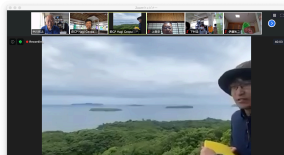
7/11

「どこでもジオツアー #02 小さな火山・笠山ジオアドベンチャー」を開催しました。

今回の舞台は、萩で最も新しい火山・笠山。北海道から鹿児島まで、30名を超える全国のお客様をご案内しました。前日には大雨警報が発出され、中止か!?とと思っていたところ、午前7時過ぎに注意報となり、晴天の下、無事実施できました。

手探りで進めているオンラインによるジオツアー。大人数が画面上で参加するとうまく対応できない、参加したいが顔出しまでは・・・という声があったことから、受入人数を変更し、送付された小道具を手に音声・顔出しで参加するプレミアムプランと、チャット（文字）での質問ができるベーシックプランの2つを用意しました。プレミアム10名は早々に満員となり、ぎりぎりまで申し込めるベーシックには21名の参加がありました。また、現地でする機器もバージョンアップ。足場の悪いところにも行きましたが、割とスムーズにきれいな映像をお届けできました。

毎月実施に向けて、萩ジオツーリズム協会の皆さんと一緒に、ツアー内容及び運営について協議・練習を重ねています。第3弾は8月10日（月・祝）、山の日。今回は特設会場での視聴＆食事プランも用意。オンラインが苦手な方も、一緒に参加しませんか？



山頂展望台からスタート



現場での撮影風景



鮮明な画像と実物のくさびに興奮



例年とは異なる夏ですが、今年も夏休みの特別プログラムをご用意しています！今年はオンラインのプログラムを中心に、おうちで楽しむ体験が盛りだくさん。どこからでも参加が可能ですので、なかなか萩に来ることができない方々にも気軽に楽しんでいただけるのではないのでしょうか。

① 萩ジオパーク・ミニ実験キット

地球の仕組みを簡単な実験で学べる『萩ジオパーク・ミニ実験キット』を販売します。大人気の「水玉マグマボトル」に新たに2つの新作「しましま地層ボトル」「どろどろ溶岩実験」を加え、全3種で各500円。作り方や解説動画、実験と関連したジオサイトを専門員と探検するバーチャルツアー映像も公開予定で、おうちで何度も楽しめます。収益の一部は、須佐湾遊覧船やモドロ岬のシーカヤック、笠山のジオガイドなどの実験と関連するアクティビティ事業者への支援に使わせていただきます。販売店舗や通販の情報はウェブサイトをご覧ください。



② どこでもジオツアー夏休み特別版

ビデオ会議システムを使って、おうちにいながら萩の現地ガイドツアーに参加できる『どこでもジオツアー』を、小中学生でも楽しめる夏休み特別版で開催します！

●『親子で遊ぼう！萩ジオパーク・小さな火山探険隊』

日 時：8月10日（祝・月）10：30～12：00
 参加料：プレミアムプラン（グッズ付き、ガイドと会話可）3,000円／ベーシックプラン（グッズ無し、ガイドとチャットでやり取り可）2,000円

●『ナイトジオツアー 夜の火山探険隊』

日 時：8月22日（土）18：30～20：00
 参加料：プレミアムプラン（グッズ付き、ガイドと会話可）3,000円／ベーシックプラン（グッズ無し、ガイドとチャットでやり取り可）2,000円



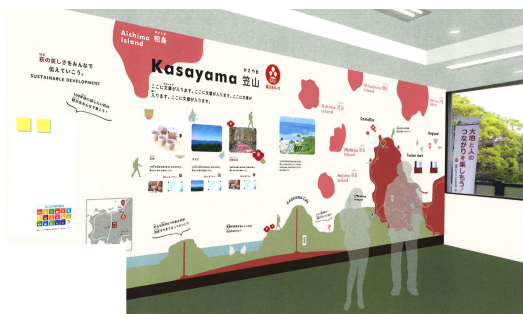
詳しくは「夏休みだ！萩ジオパーク行こう」特設ホームページをご覧ください →



～来年2月にリニューアルオープン～ 笠山山頂展望台が生まれ変わります

建造から30年が経過した、萩市椿東にある笠山山頂展望台。

今年、萩ジオパークではここを主要な活動拠点と位置づけ、さらなる活用を図るため、3階部の展示を充実し、居心地の良い休憩スペースとして整備するとともに、体験プログラム空間としての機能強化を行います。



▲ 3階展示のイメージ図

また、階下の2階部分では20年以上封鎖していた厨房設備等をリニューアルし、カフェをオープンさせます。課題であったトイレ施設を設置し、来訪者に癒しとゆとりの空間を提供していきます。

以前より公募していましたこのカフェの運営者が決定しましたので、ご紹介します。

木村由紀（きむらゆき）さん 33歳 | 山口県萩市出身（萩市在住） 会社員



この度、笠山山頂展望台のカフェの事業者に選ばれた木村由紀です。

私は大学卒業後、地元萩市に戻り会社員として勤務した後、福岡のコーヒー専門店でコーヒーの基礎知識やカフェのオペレーションなどを学びました。2017年から再び萩に戻り、現在まで会社員として働きながら、やりたかったカフェの開業に向けてイメージや計画を広げていたところ、カフェ事業者募集を知り応募に至ります。

今回カフェを開くことで市内外の方に笠山や越ヶ浜地区の魅力を伝える観光拠点として機能させていきます。さらに自然の力強さを感じながら、自分と向き合える場所として活用していただく空間づくりをしていきたいです。

今後のスケジュールは、夏期に出店者及び展示業者と事業計画の打ち合わせを行い、秋に整備工事とカフェ出店者による内装工事等を実施します。

そして、来年（令和3年）2月には笠山山頂展望台のリニューアルオープンを目指しています。山頂展望台の整備の進捗については、随時、この推協だよりでもご紹介します。

オンラインジオツアーを全国で！ JGNオンラインセミナーを開催しました

7/1

コロナ禍でジオツアーの実施が困難な中、萩ジオパークでは全国に先駆けてオンラインでのジオツアーをこれまでに2度開催してきました。前例が極めて少ない中、機材を揃え、システムを構築する作業は大変な労力がかかりました。私たちが試行錯誤を経て得たこの知識や経験を全国のジオパークに提供し、萩だけではなく、全国各地でオンラインジオツアーを実施していただくために、関係者向けのオンラインセミナーを開催しました。緊急開催にもかかわらず、当日は20地域以上にご参加いただきました。とても参考になったという声が多く、いくつかのジオパークは8月中のツアー開催に向けて具体的に準備を進めています。まもなく、家にいながら全国各地のジオツアーに参加できる日が来ます。待ち遠しいですね！



第6回東北ジオパーク学術研究会議&第20回日本地球惑星連合大会(JpGU)に参加

新型コロナウイルスへの対応で、さまざまな会議やイベントが中止やオンラインでの開催となっています。秋に開催予定だった第11回日本ジオパーク大会・島根半島大会も1年延期となりました。ただ、オンラインイベントは、現地に行かずとも家からでも気軽に参加できる、という利点もあります。

7月4日に開催された第6回東北ジオパーク学術研究者会議は、「日本海拡大と東北日本」というテーマでのオンライン開催であったことから、日本海に面するジオパークに参加の呼びかけがあり、萩ジオパークも参加しました。オンライン会議の手法は新たな連携を生んだ、として高評価でした。会の終わりに、ジオパークとして新型コロナなどの地球規模の出来事に対し、どう対応していくのか、といった質問が講演者から参加者に向けてありました。そこで、萩ジオパークのオンラインジオツアーの取組を紹介、地球の上で生きている、大地と人の暮らしが密接なものである、といったことに気づいてもらうきっかけとして実施していると話しました。

また、例年5月下旬開催のJpGU大会がオンラインで7月12日～19日に開催。パブリックセッションとして開催されたジオパークに関するオンライン集会でも、萩ジオパークのオンラインジオツアーの取組が取り上げられました。コロナ禍の中での萩ジオパークの取組は注目されています。

JpGUのホームページ



学校でジオパークの取組を進めるには「萩「ジオな」教育推進委員会

7月3日(金)午後2時30分から萩・明倫学舎にて、令和2年度第1回「萩ジオパーク構想推進プロジェクト

(萩ジオな教育)推進委員会」が開かれました。

この委員会は2015年に発足、小中学校の学校教育の現場で、どのようにしてジオパークの周知や活動を推進していくかを検討、取組を進めています。今回の会議では、新しい生活様式に対応した取組として、エリア内小中学校でジオパーク活動の窓口となっていた先生方との情報共有の場である「学校教育連絡会議」をオンラインで開催することを検討しました。ジオパークを使った学習を進めるにあたり、ジオサイトに行きたいが、時間・手段がないといった声があります。オンライン会議を体験することで、先日行った越ヶ浜小学校での現地を繋いだ出前授業など、協議会での取組に関心を持ち、課題解決に向けた一歩となることが期待されます。

後半は、年3回、エリア内の小中学校に配布している子ども向けの情報紙「こどもたんけんたい」の編集作業。エリア内の小・中学校を鳥の目線で見た写真及びヒントと解説で、その地域の大地の成り立ちと人の暮らしに迫ります。

さて、次はどこの学校でしょう？



会議の様様

8月の予定 - Information -

- **オンラインガイドツアーを体験しよう&食事を楽しもう** 8月10日(月・祝) 10:30~12:30(開場10:15) 内容: 昼食付でジオツアーのオンライン配信を体験する 場所: ①萩観光ホテルまたは②つばきの館 参加費: 一人2,000円(体験料・食事代) 定員: ①、②ともに15名(定員になり次第〆切) 申込方法: 8月5日(水)までに電話もしくはFAX、メールで参加代表者の氏名、連絡先、参加人数を連絡 主催・問合せ: 萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)
- **萩ジオパーク推進協議会・学校教育連絡会議** 8月20日(木) 10:00~11:30 内容: オンライン会議ツールによる会議 主催・問合せ: 萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)
- **geoとも(萩ジオ友の会)定例会「ジオ探訪」** 8月22日(土) 9:00~16:00 集合場所: 萩市中央公園 内容: 青海島~マグマの博物館~・ジオクルージング 参加費: 実費 主催・問合せ: geoとも(西嶋、0838-26-6123)

わっきー教授のつぶやき ~ひとこと解説~

今回は、笠山つぶきちゃんの地元、萩市椿東にある笠山にやってきました。笠山は、今から約8800年前に噴火した火山です。約200万年前からマグマ活動が続いている阿武火山群の中で最も新しい時期の火山になります。



もちろん、活火山(カツ母さんではない)です。標高112mで南北1.7km、東西1.6kmの、とても小さな火山です。それでも山頂には、直径30m、深さ30mの火口が残っていて、階段がついているので、誰でも火口の底まで入っていくことができます。安心して火口に入って行けるのも、火山が小さいまま残っているのも、笠山を含む阿武火山群が単成火山群と呼ばれ、一度噴火したら同じ場所では噴火せず、マグマは出口を求めて、別の場所に噴火することに関係しています。笠山山頂から見える萩六島も一つ一つが阿武火山群を作る一連のマグマ活動で出来たものなので、笠山つぶきちゃんが、萩六島を仲間と呼んでいるのは、そのような訳があるのです。同じマグマから出来た仲間なのですね。



笠山全景。中央にスコリア丘を持ち、周辺に溶岩が流れた緩やかな台地。形が市女笠(いちめがさ)に似ている

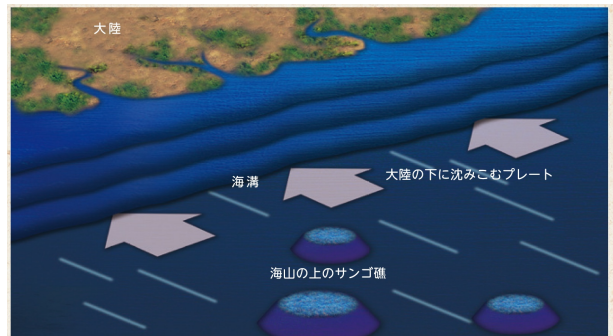
笠山は、江戸時代初期までは本土(本州側)から離れた独立した島だったと言われています。海岸沿いには、沿岸流が流れていて土砂を運んできます。笠山と本土の間に砂州が発達していき、ついに笠山は本土とつながります。だから今は、笠山が頭だとすると、砂州は首、本土が体みたいな関係になっていますよね。おかげで車や徒歩で簡単

に行き来ができるようになりました。笠山と砂州の境のところに、明神池があります。明神池は、笠山から流れ込む川の水(淡水)と海から入り込む水(海水)が混じり合った汽水湖となっていて、多様な魚を見ることができます。



砂州が笠山に伸びてきて陸続きになったが、一部取り残された場所が明神池。今でも海水が流れ込み、海の魚が生息する

ところでつぶきちゃんが半田くんのことにも火山に関係していると言っているのは、本当です。石灰岩の半田君は、今から3億年以上前に広い海の真ん中で生まれた海底火山の山頂に出来たサンゴ礁が固まって出来た岩石です。火山なしには、半田くんは生まれなかったのですね。石灰岩は、二酸化炭素を含む雨水に溶けるので、笠山ちゃんの傘で何度も助けてもらいましたね。でも本当は明神池に落ちたくらいでは溶けないのですが、子供の時から「雨水に気をつけなさい!溶けるわよ」とお母さんからしつけられていたので、水が怖いんでしょうね。でも本当に怖いのは、笠山ちゃんの怒りであることに今日気づきました。そうです。いつも、奥様の怒りにおびえているお父さん、よく分かりますよね。私も身にしてみています。みなさん、家庭内のマグマ噴火に気をつけましょう。



はるか昔の南の海で噴火した火山の上に来たサンゴ礁が石灰岩となった